

平成15年度 活動報告

(2003年度)



ミュージアムワーク「コククジラの骨格掘出し」7月7日

1. 運営	77
2. 教育普及	80
3. 調査研究・資料収集	84
4. 文化財保護	86

1. 運 営

1. 平成15年度の投資的事業

事業名	予算	内 容	担当
知床ライブラリー第5巻刊行・第6巻編集事業	2,464	第5巻「知床の昆虫」の刊行 第6巻「知床の植物」の編集	松田 内田
国営畑総緊急発掘調査事業	43,643	畑地総合土地パイロット事業に係る発掘調査	松田
ネプタ収納庫重量シャッターの修繕	270		松田

2. 予算

1) 博物館費 (当初)

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算
報 酬	141	役 務 費	1,644
共 済 費	946	通 信 運 搬 費	682
賃 金	252	手 数 料	946
報 償 費	975	保 険 料	16
旅 費	588	委 託 料	8,586
需 用 費	9,535	使用料及び賃借料	429
消 耗 品 費	1,200	原 材 料 費	100
食 料 費	12	備 品 購 入 費	200
印 刷 製 本 費	2,977	負担金補助及び交付金	110
燃 料 費	536	公 課 費	26
修 繕 料	740		
光 熱 水 費	3,852	合 計	23,532
飼 料 費	218		

2) 文化財保護費 (当初) (千円)

費 目	予 算
報 酬	36
賃 金	1,050
旅 費	81
需 用 費	129
消 耗 品 費	25
印 刷 製 本 費	15
修 繕 料	20
光 熱 水 費	69
役 務 費	63
通 信 運 搬 費	63
負担金補助及び交付金	125
合 計	1,484

3) 国営畑総緊急発掘調査費

(千円)

費 目	予 算	費 目	予 算	費 目	予 算
給 料	4,621	消 耗 品 費	2,601	通 信 運 搬 費	260
職 員 手 当 等	3,337	印 刷 製 本 費	3,487	手 数 料	2,502
共 済 費	5,914	燃 料 費	266	委 託 料	55,220
賃 金	38,503	修 繕 料	95	使用料及び賃借料	1,935
旅 費	461	光 熱 水 費	140	補償補填及び賠償金	1,777
需 用 費	6,589	役 務 費	2,762	合 計	123,142

3. 組織・職員

■斜里町立知床博物館



■斜里町埋蔵文化財センター



■博物館協議会（任期：平成13年4月1日～平成15年3月31日）

会長 高橋 信広 委員 佐藤 隆夫 石田 篤司 高橋 公栄 村上 涼子
副会長 高木 寿一 植木 玲一 岩見 慶一 相内 勝也 橋本 勝

■文化財調査委員会（任期：平成13年4月1日～平成15年3月31日）

会長 河村 淳史 副会長 桂田 空歆 委員 河面 正吾 島多 哲夫 松本 宣親

4. 博物館利用状況

全入館者

月	一般	高校生	小中学生	幼児	計	有料入館者	開館日数	一日平均入館者(有料)
4月	626	138	98	92	954	453	26	37 (17)
5月	705	7	178	96	986	391	28	35 (14)
6月	1,044	121	242	88	1,495	504	25	60 (20)
7月	2,178	85	611	217	3,091	1099	28	110 (39)
8月	1,645	33	447	72	2,197	1,434	27	81 (53)
9月	1,243	5	261	75	1,584	759	26	61 (29)
10月	880	14	109	41	1,044	496	28	37 (18)
11月	608	0	48	65	721	270	24	30 (11)
12月	342	2	68	32	444	80	24	19 (3)
1月	194	59	20	7	280	126	22	13 (6)
2月	658	2	49	24	733	425	24	31 (18)
3月	635	21	118	45	819	327	25	33 (13)
合計	10,758	487	2,249	854	14,348	6,364	306	47 (21)

団体入館者

月	町内団体		町外団体		合計	
	件	人数	件	人数	件	人数
4月	3	78	2	283	5	361
5月	2	22	2	55	4	77
6月	4	85	12	216	16	301
7月	3	102	14	334	17	436
8月	0	0	8	193	8	193
9月	4	77	3	127	7	204
10月	2	23	9	172	11	195
11月	2	53	3	64	5	117
12月	0	0	1	18	1	18
1月	0	0	4	81	4	81
2月	0	0	18	263	18	263
3月	2	35	11	107	13	142
合計	22	475	87	1,913	109	2,388

2. 教育普及活動

1. ロビー展・特別展

第25回特別展「骨の博物誌-骨から見た知床の動物」を開催した。知床でみられる哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類などのさまざまな骨格を展示。機能、進化、多様性について比較解説した。またロビー展として主催事業2回、貸会場2回の合計4回を実施した。特別展とあわせロビーの展示会場使用は133日であった。

期 日	題 名	内 容	参加者	担当
(ロビー展) 7月26日-8月31日	立体地図模型で見る北海道の地形	旭川高専橋本直樹氏製作の精密な立体地図の展示	2,558	増田
9月2日-19日 9月21日-10月5日	しれとこ植物画同好会展 記念館10年のあゆみ	博物館を活動の場とする植物画サークルの第8回作品展 落成10周年を迎えた交流記念館のあゆみを振り返るパネル展示	1,131 557	内田 中川
3月9日-31日 (特別展) 10月5日-12月7日	はた織り会作品展 骨の博物誌-骨から見た 知床の動物	博物館を活動の場とするはた織り会と日の出学園生徒の作品展 鯨類をふくむ多数の動物の骨格標本を展示解説	819 1,637	松田 増田
	合計5事業	合計	6,702	

2. 講演会・ロビーコンサート

交流記念館の開館10周年の記念事業として記念館ホールで室内楽のサロンコンサートを行った。また開拓記念館との共催事業としてゆめホール知床で連続講演会「クジラと北海道」を開催した。

期 日	題 名	内 容	場 所	参加者	担当
9月21日	交流記念館開館10周年記念サロンコンサート	テラ弦楽四重奏団による室内楽の夕べ	記念館ホール	59	合地
10月25日	開拓記念館公開講座「クジラと北海道」	開拓記念館と共催のクジラの連続講演会	ゆめホール知床	51	増田
2月26日	特別講演会「世界遺産屋久島の自然とエコツーリズム」	市川聡氏による屋久島のエコツーリズムの変遷	記念館ホール	58	中川
	合計3事業		(合計)	168	

3. 博物館講座

27講座を実施、のべ445人が参加した。昨年に引き続き体験・学習一体型講座として「ミュージアムワーク」、小学生向け通年参加型の「知床海と森の学校」を開催した。「ミュージアムワーク」ではコククジラの骨格掘り出しや洗浄などを行った。「海と森の学校」では3回を羅臼町教育委員会との共同開催とし、両町の小学生の交流をはかった。

1) 体験・学習一体型講座

ミュージアムワーク

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
7月7日	コククジラ骨格掘り出し	土中からのクジラ骨格掘り出しと洗浄	博物館	6	増田

知床海と森の学校

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
6月7日	ホエールウオッチング	羅臼町知床キッズと共催でクジラ観察会	羅臼町	21	増田
6月28日	知床岬クリーンツアー	羅臼町知床キッズと共催で岬清掃	知床岬	17	増田
7月12日	秘密の湖ハイキング	雨天のため中止	羅臼湖	-	増田
8月30日	コウモリ観察会	家屋に住むキタクビワコウモリの観察	斜里小	19	増田
9月20日	森の教室	知床森林センターと共催でどんぐり調査	ウトロ	12	増田
10月11日	サケ・マス観察会	川へ遡上するサケ・マスの観察会	幌別川	15	増田
11月1日	秋の森観察会	湖沼と森のいきもの観察と木工クラフト	和琴半島・川湯 エコミュージアム	13	増田
2月7日	歩くスキーでいく大栄海岸林	森林センターと共催の冬の海岸林観察会	大栄海岸林	12	増田
2月28日	流水の海 動物船上観察会	羅臼町知床キッズと共催で船上観察会	羅臼町	18	増田
	合計9講座(実施8講座)		(合計)	127	

2) 一般の博物館講座

期 日	講 座 名	内 容	場 所	参加者	担当
4月27日	大栄湿原観察会	ミズバショウなど春の植物観察	大栄	10	内田
5月25日	スマレマラソン	町内の各種スマレ観察	町内	6	内田
7月13日	雌阿寒岳高山植物と火山観察会	高山植物と火山地形の観察	阿寒町	11	内田
7月26日	夏休み体験講座(1)	川の生き物観察会	幾品川	4	増田
7月31日	夏休み体験講座(2)	石を磨いてみよう	埋文センター	11	合地
8月1日	夏休み体験講座(3)	朝と夜の昆虫採集と標本作り(1)	博物館	20	松田
8月2日	〃	朝と夜の昆虫採集と標本作り(2)	博物館	16	松田
8月6日	夏休み体験講座(4)	フライドチキンから骨格標本をつくらう	博物館	7	増田
8月7日	夏休み体験講座(5)	はたおり体験	博物館	17	松田
8月8日	夏休み体験講座(6)	海岸の植物採集と標本作り	前浜・博物館	17	内田
8月27日	火星大接近	大接近中の火星の観測	博物館	61	合地
9月2日	火星大接近	大接近中の火星の観測	博物館	26	松田
9月13日	メノウ探し	採集したメノウを磨く体験講座	埋文センター	10	合地
11月8日	モモンガ観察会	巣箱に営巣したモモンガの観察会	旧越川小	6	増田
11月18日	しし座流星群と秋の星座観察	(悪天のため中止)	富士	-	松田
11月22日	宝石細工	北海道の石を磨いてネクタイピン・ペンダントを製作	埋文センター	8	合地
12月28日	開館記念もちつき大会	臼と杵を用いた伝統的なもちつき大会	博物館	72	松田
2月28日	土・木・金星と冬の星座観察会	冬の惑星と星座の観察会	博物館	5	合地
3月18日	はた織り体験講座	はた織り会会員の指導による体験講座	博物館	5	松田
	合計19講座企画(18講座実施)		(合計)	312	



第25回特別展「骨の博物誌」展示会場



交流記念館開館10周年記念サロンコンサート

4. 生涯学習連携事業

町内の小中学校との連携による授業指導や自然観察会、体験発掘を実施したほか、老人クラブを対象に公民館講座、町教育委員会主催の高齢者講座「生きがい大学」の講師を行った。

1) 学校教育連携・公民館講座

期 日	事 業 名	内 容	場 所	担 当
6月10-11日	斜里高発掘体験	高1年生対象の発掘体験	朱円	松田
6月20日	朝日小発掘体験	小6年生対象の発掘体験	朱円	松田
6月26日	大谷幼稚園自然観察会	園児対象の自然観察	博物館野外観察園	増田
7月4日	ウトロ中自然観察会	中1年生対象の自然観察	ポンホロ沼	増田
8月27日	大谷幼稚園自然観察会	園児対象の自然観察	博物館野外観察園	増田
9月9日	川上小植物観察会	小1・2年生対象の植物観察	以久科原生花園	内田
10月15日	川上小地質観察会	小学生対象の地質観察	町内	合地
10月28日	北大獣医学部講義	学部2年対象の獣医学概論講義	北海道大学	増田
10月30日	斜里中職場体験	中2年生対象の職場体験	博物館	中川
11月19日	斜里高職場体験	高校生対象の職場体験	博物館	中川
2月5日	越川公民館講座	老人クラブ対象の野生動物の講演	越川公民館	増田
2月10日	朱円小 PTA 研修会	PTA・児童対象の知床の自然の講演	朱円小	中川
	合計 11 事業			

2) 生きがい大学専門課程

期 日	時 間	会 場	テ ー マ	受講生	担 当
4月17日	13:00-14:45	映像展示室	開校式、斜里町の指定文化財と天然記念物	24	中川
5月8日	13:00-14:45	映像展示室	知床の火山と温泉	25	合地
5月22日	10:00-11:45	映像展示室	サハリンの生い立ちと最近のサハリン情報	28	合地
6月26日	13:00-14:45	映像展示室	展示「先史コーナー」の見方と遺跡スライド説明会	24	松田
7月17日	13:00-14:45	映像展示室	斜里町の先史	21	松田
8月27日	10:00-11:45	漁村センター	ウトロの先史と斜里の先史時代	21	松田
9月11日	10:00-11:45	映像展示室	斜里町の海岸林植物相の紹介	23	内田
10月2日	13:00-14:45	映像展示室	知床のシダ植物	24	内田
10月16日	13:00-14:45	映像展示室	骨の博物誌	26	増田
11月6日	10:00-11:45	映像展示室	知床のクジラ・イルカ	24	増田
11月19日	10:00-11:45	漁村センター	ウトロ周辺の野生植物	13	内田
11月27日	13:00-14:45	映像展示室	世界遺産と知床の野生動物	23	中川
			合計 12 講座	(合計) 272	



特別講演会「世界遺産屋久島の自然とエコツーリズム」



夏休み体験講座「川の生き物観察会」

5. 研修受け入れ

(1) 獣医学学生実習

期 日	所 属 大 学	内 容	人 員	担 当
8月22-28日	北海道大学	大学における単位取得実習。自然センターと共催	7	増田
3月6-12日	〃	〃	6	増田
		(合計)	13	

(2) 博物館学学生実習

期 日	所 属 大 学	内 容	人 員	担 当
9月3～12日	跡見学園大学	大学における学芸員資格取得実習	1	各学 芸員
	東北学院大学	〃	1	
	東海大学	〃	1	
	法政大学	〃	1	
		(合計)	4	

6. 出版・広報活動

出版物名	発行期日	内 容	執筆	規 格	対 象	部 数
第25回特別展図録	2002.10.10	骨の図鑑 骨格から見た知床の哺乳類	増田	A4変36P	一般	1,000
博物館のひろばNo.88	2002.9.1	ウトロに眠る巨大遺跡	松田	A4版2P	町内全	6,000
博物館のひろばNo.89	2002.10.1	斜里海岸の鳴き砂	合地	A4版2P	町内全	6,000
博物館のひろばNo.90	2002.2.1	流水上で生まれたアザラシの子どもたち	増田	A4版2P	町内全	6,000
博物館のひろばNo.91	2003.3.1	斜里岳の高山植物mini図鑑	内田	A4版2P	町内全	6,000
タンネウシNo.137	2002.4.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.138	2002.5.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.139	2002.6.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.140	2002.7.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.141	2002.8.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.142	2002.9.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.143	2002.10.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.144	2002.11.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.145	2002.12.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.146	2003.1.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.147	2003.2.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
タンネウシNo.148	2003.3.15	行事案内・博物館情報	秋山	A4版2P	会員他	500
しれとこライブラリー第5巻 「知床の昆虫」 ホームページ公開	2003.12.28 随時	知床のチョウ・ガ・オサムシなど 展示・行事・出版物案内他	松田 内田	A5版240P	町内外	1,000 町内外



朝と夜の昆虫採集と標本作り



夏休み体験講座「石を磨いてみよう」

3. 調査研究・資料収集

1. 調査研究活動

調査名	期間	内容	担当
特別展資料調査	5月-9月	骨学研究	増田
埋蔵文化財調査			
朱円42遺跡	5月-7月	朱円地区の縄文遺跡発掘調査	松田
アッカベツ22遺跡	8月	朱円地区の縄文遺跡発掘調査	松田
大栄7遺跡	9月	大栄地区の縄文遺跡発掘調査	松田
オクシベツ4遺跡	9月	朱円地区の縄文遺跡発掘調査	松田
アキベツ11遺跡	10月	以久科地区の縄文遺跡発掘調査	松田
朱円2遺跡	10月	朱円地区の縄文遺跡発掘調査	松田
行政連携調査			
アライグマ生息状況調査	通年	アライグマの痕跡、捕獲調査、情報収集	増田
植物絶滅危惧植物調査	5月-10月	環境省レッドリスト見直し調査	内田
博物館単独調査			
稀少鳥類調査	通年	オジロワシの繁殖状態、ワシ類の越冬状況調査	増田・柳
ストランディング調査	通年	鯨類・鯨脚類の漂着調査	増田
共同調査			
コウモリ調査	4月-11月	モモジロコウモリコロニー調査	増田
昆虫生態調査	5月-10月	斜里町内に生息する昆虫類の調査	松田

2. 資料収集・保存事業

分野	期間	内容	担当
植物資料作成・保存	通年	植物採集・標本作製・整理	内田
各分野の資料受入と保存	通年	資料収集・整理・保管・登録台帳整備	各学芸員

新規受入資料

動物	植物	歴史	民俗	民族	合計
23	13	5	276	1	318



夏休み体験講座「フライドチキンで骨格標本」



知床海と森の学校「歩くスキーでいく大栄海岸林」

3. 個別活動

中川 元

担当：動物（鳥類）

1. 報文

なし

2. 館外活動

2003.5.8 網走土木現業所研修会講師「オジロワシの生態」網走市

2003.10.24他 北海道森林管理局知床森林生態系保護地域設定委員会，斜里町・札幌市

2003.11.11他 環境省野生生物保護対策検討会シマフクロウ保護増殖分科会，釧路市

2003.11.14 環境省絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会哺乳類分科会，東京都

2003.2.10 朱円小学校PTA研修会講師「知床の自然－植物と動物の様子」，朱円

3. 調査研究

なし

合地信生

担当：地質

1. 報文

なし

2. 館外活動

なし

3. 調査研究

なし

松田 功

担当：考古・昆虫

1. 報文

松田功. 2003. 幻の蝶を探せ. 知床博物館(編). しれとこライブラリー5 知床の昆虫. pp32-33. 北海道新聞社, 札幌.

松田功. 2003. 虫たちとの出会い. 知床博物館(編). しれとこライブラリー5 知床の昆虫. pp172-173. 北海道新聞社, 札幌.

2. 館外活動

なし

3. 調査研究

2003.5-10 町内昆虫調査(耕地防風林内・知床五湖周辺)

増田 泰

担当：動物（哺乳類）

1. 報文

増田泰. 2003. エゾモモンガの日周活動. 知床博物館研究報告23: 53-58.

増田泰. 2003. エゾモモンガによる巣箱利用. 知床博物館研究報告23: 59-62.

増田泰. 2003. エゾモモンガの子育てと子の成長. 知床博物館研究報告23: 63-66.

増田泰. 2003. エゾモモンガが越冬用に利用した営巣木. 知床博物館研究報告23: 67-70.

宇仁義和・増田泰. 2003. 斜里平野の淡水魚. 知床博物館研究報告23: 37-42.

2. 館外活動

2003.10.28 北海道大学獣医学部非常勤講師 野生生物学総合講義, 札幌

2003.10.25 北海道開拓記念館公開講座「鯨と北海道」講師, ゆめホール知床

3. 調査研究

通年 町内アライグマ調査

内田暁友

担当：植物

1. 報文

内田暁友. 2003. 斜里町の絶滅危惧植物チェックリスト. 知床博物館研究報告24: 71-80.

丹羽真一・渡辺修・渡辺展之・内田暁友. 2003. 海岸断崖に生育する稀少植物, エゾノヨモギギクの個体群構造. 知床博物館研究報告24: 9-15.

2. 館外活動

なし

3. 調査研究

通年 斜里町・知床半島植物相調査

通年 環境省第2次レッドリスト見直しのための調査(維管束植物)

4.文化財保護

1. 指定文化財

1) 北海道指定文化財

朱円遺跡は縄文時代後期の墳墓群で、墓をめぐる土堤が環状に築かれているところから周堤墓または環状土籬と呼ばれる。戦後間もない昭和23・24年に河野広道北海道教育大学教授（当時）によって発掘調査が行われた。周堤墓は2つあり、直径28mと32mの円形の土堤をめぐるしている。出土品は知床博物館で常設展示している。

朱円竪穴住居跡群は斜里沿岸に広がる海岸砂丘上にあり、森の中におびただしい数の窪んだ住居跡が見られるため「朱円千穴」と呼ばれて親しまれてきた。住居跡の形態から、この砂丘には数千年にわたる縄文文化中期から続縄文文化期、それに続く擦文・オホーツク文化期の様々な人々が住み続けたと考えられている。

オシクシクシク粗粒玄武岩柱状節理はウトロの南西約5.5kmに位置するオシンコシン崎にあり、その姿から「俵石」と呼ばれている。ここに分布する第三紀中新世の頁岩層に粗粒玄武岩の岩脈が貫入するという地下でのマグマ活動に加え、オホーツク海の激しい風化作用によって岩石が浸食され生れた美しい縞模様が特徴となり、横向きの柱状節理と岩柱に直角に発達する縞状構造が見られる。岩石標本を知床博物館で常設展示している。

斜里海岸の草原群落は斜里川西方の海岸、東西約2.5kmにわたる自然草原の群落で、エゾスカシユリ・ハ

名 称	指定年月日	場 所	所有者	面 積
史 跡				
斜里朱円周堤墓および出土遺物	昭和32年（1957）1月29日	朱円西区東一線	斜里町	1.4ha
朱円竪穴住居跡群	昭和42年（1967）6月22日	朱円国有林内	農林水産省	24.2ha
天然記念物				
オシクシクシク粗粒玄武岩柱状節理	昭和48年（1973）3月14日	オシンコシン海岸	建設省	2.2ha
斜里海岸の草原群落	昭和25年（1950）8月28日	美咲国有林内	農林水産省	96ha

※所有者が国の文化財の管理団体はいずれも斜里町



第25回特別展図録



しれとこライブラリー



博物館のひろば

マナス・エゾゼンテイカなど50種をこえる野生の草花が観察できる。周囲は網走国定公園に指定され、遠方には斜里岳、海別岳、知床連山が見えるオホーツク地方の景観を代表する場所でもある。

2) 斜里町指定文化財

初代斜里場所請負人三代目村山伝兵衛が寛政8年(1796)に豊漁を祈願して寄進した社祠である旧斜里神社拝殿、文久2年(1862)斜里場所請負人藤野家の支配人三右衛門によって斜里神社に奉納された絵馬、享和元年(1801)幕府役人北陰政幸らが斜里旅行中に宗谷から止別までの地名を折込み和歌にし斜里神社に奉納した歌枕額は知床博物館で常設展示している。

また、文化4年(1807)斜里地方の沿岸防衛を命ぜられた津軽藩士100余名が厳しい越冬期間中に浮腫病にかかり次々と死亡し、翌年帰郷したのはわずかに17名という「津軽藩士の殉難事件」に関連した文化財が6件指定されている。禅龍寺保管の「津軽藩士死没者の過去帳」を除き、これらは町民公園など博物館周辺で公開されている。

平成15年(2003)には新たに斜里神社石灯籠が指定された。これは天保5年(西暦1834年)に奉納された一対の石灯籠で、三上伴七(当時のシャリ場所支配人)と畑藤清六郎右衛門(シャリ場所を請け負っていた藤野喜兵衛の持ち船住吉丸の船頭)が斜里神社に寄進したものと考えられている。

名 称	指定年月日	場 所	所有者	種 別
旧斜里神社拝殿	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2 知床博物館	斜里町	建造物
絵馬	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2 知床博物館	斜里町	有形
歌枕額	昭和51年(1976)11月8日	本町49番地2 知床博物館	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	本町49番地2 町民公園	斜里町	有形
津軽藩士死没者の供養碑	昭和57年(1982)7月1日	朝日町4番地2	日蓮宗日照寺	有形
津軽藩士死没者の過去帳	昭和57年(1982)7月1日	本町47番地2	曹洞宗禅龍寺	有形
津軽藩士シャリ陣屋跡	昭和62年(1987)7月1日	本町52番地24		史跡
津軽藩士墓所跡	昭和62年(1987)7月1日	本町49番地2 町民公園		史跡
シャリ運上屋(会所)跡	昭和62年(1987)7月1日	港町8番地28		史跡
斜里神社石灯籠	平成15年(2003)3月26日	本町44番地斜里神社境内	斜里神社	有形

※斜里朱円環状土籬の出土遺物および上の町指定文化財3件は、知床博物館で常設展示しています。



ヘドロに首まで埋まったタンチョウの救出



保護されたハヤブサ

2. 登録文化財

旧根北線は、知床半島の基部を横断し北見地方と根室地方を結ぶ国鉄路線として昭和13年に着工された。昭和15年には第一幾品川橋梁（通称越川橋梁）が斜里町越川地区に完成。しかし鉄道建設工事はこの年に中断され、橋梁は使われないまま戦後を迎え今日に至った。

越川橋梁は長さ147メートル、高さ21.7メートルの10連アーチ型コンクリート橋で、コンクリート鉄道橋としては北海道最大である。昭和48年に国道の改良工事によって橋脚の2本が撤去されたが、河畔林など周囲の自然環境にとけ込み、美しい姿を今に留めている。また、戦時下の鉄筋を使用しない構造にも特徴があり、当時の土木技術を現代に伝える建造物である。

登録有形文化財

名称：旧国鉄根北線越川橋梁 登録日：平成10年（1998）7月23日 場所：字越川245番8他 斜里町

3. 埋蔵文化財

平成15年度は国営畑地帯総合土地改良パイロット事業にかかる小清水地区および斜里地区の用水路工事に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を6箇所の遺跡で実施した。遺跡名、遺跡登録番号、調査面積、調査期間、主な遺構、遺物は次の通りである（担当：松田）。

1) 大栄7遺跡・I-08-66 (1,315m²) 調査期間：平成15年9月1日-9月30日

斜里市街地西方約10km、小清水町との町境付近、大栄地区に位置する。検出遺構は堅穴住居2軒、土壇3基でいずれも縄文中期のものであった。遺物は縄文中期トコロ6類式土器のほか、ナイフ・スクレイパーなど、土器783点、石器131点、レキ6点、炭化物ほか6点の合計926点が出土した。



大栄7遺跡発掘現場



大栄7遺跡発掘現場



アッカソベツ22遺跡発掘現場



アッカソベツ22遺跡発掘現場

2) オクシベツ 4 遺跡・I-08-84 (1,200m²) 調査期間：平成15年9月1日-9月30日

斜里市街地東方約10km, オクシベツ川の支流(朱円川の右岸段丘面上), 朱円東地区に位置する。検出遺構は縄文中期の竪穴住居3軒, 土壇2基, 集石を伴う土壇1基, 縄文後期の焼土遺構2箇所であった。遺物は縄文早期(東釧路IV式), 前期(朱円式), 中期(トコロ6類式), 後期(堂林式), 晩期(ヌサマイ式)の土器のほか, 両面調整のナイフ・スクレイパーなど, 土器832点, 石器815点, レキほか6点の合計1,653点が出土した。

3) アッカベツ 22遺跡・I-08-352 (1,100m²) 調査期間：平成15年8月1日-8月31日

斜里市街地東方約6.5km, 朱円地区に位置する。検出遺構は縄文中期と推測される土壇3基と攪乱を受けた焼土遺構数箇所とであった。耕作により包含層のほとんどが消失しており, 包含層と共に遺物は遺跡東側の沢地に動かされたようである。遺物は縄文中期(トコロ6類式)の土器1点とレキ1点の合計2点のみであった。

4) 朱円 2 遺跡・I-08-37 (1,350m²) 調査期間：平成15年10月1日-10月31日

斜里市街地東方約6km, 朱円地区に位置する。検出遺構は縄文前期の竪穴住居1軒, 土壇3基, 焼土遺構1箇所と縄文中期の焼土遺構1箇所であった。遺物は縄文前期(朱円式), 中期(トコロ6類式)の土器のほか, 両面調整のナイフ・スクレイパーなど, 土器14点, 石器224点, レキほか36点の合計274点が出土した。

5) 朱円 42 遺跡・I-08-351 (1,800m²) 調査期間：平成15年5月1日-7月31日

斜里市街地東方約6km, 北海道指定史跡の朱円周堤墓の西側, 朱円地区に位置する。検出遺構は縄文中期の竪穴住居7軒と焼土遺構3箇所, 縄文後期の土壇5基と焼土遺構1箇所, 斜面を利用した遺物及び焼土の廃棄場遺構とであった。遺物は縄文前期(朱円式), 中期(北筒III A式・羅臼式), 後期(堂林式, 栗沢式)の土器のほか, 石鏃・石槍・ナイフ・スクレイパーなど, 土器410点, 石器771点, レキほか125点の合計1,306点が出土した。



朱円 2 遺跡発掘現場



朱円 2 遺跡発掘現場



朱円 42 遺跡発掘現場



朱円 42 遺跡発掘現場

活動報告

6) アキベツ11遺跡・I-08-280 (700m²) 調査期間：平成15年10月1日-10月31日

斜里市街地南方約5km, 秋の川右岸台地上, 以久科南地区に位置する. 検出遺構は縄文中期の竪穴住居7軒, 土壙墓2基, 土壙1基, 焼土遺構5箇所であった. 遺物は縄文前期(朱円式), 中期(トコロ6類式), 晩期(ヌサマイ式), 続縄文文化期(宇津内IIa・IIb式)の土器のほか, 石鏃・石槍・ナイフ・スクレイパーなど, 土器647点, 石器1,710点, レキほか114点の合計2,471点が出土した.



アキベツ11遺跡発掘現場



アキベツ11遺跡全景



アキベツ11遺跡発掘現場



オクシベツ4遺跡全景